

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-153271

(43)Date of publication of application : 31.05.1994

(51)Int.Cl.

H04Q 9/00

H04Q 9/00

// G06F 15/02

(21)Application number : 04-300714

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 11.11.1992

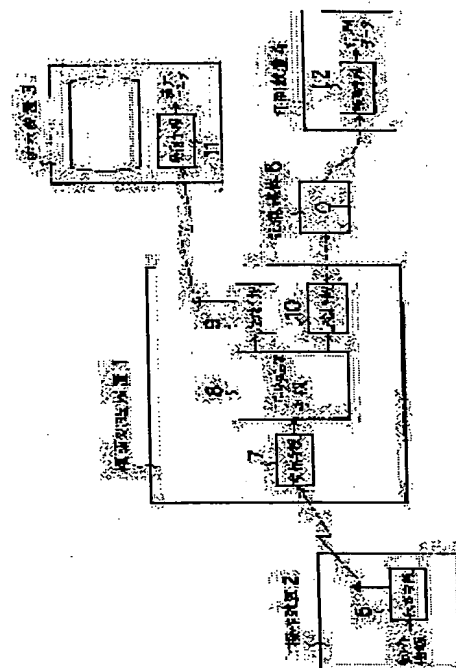
(72)Inventor : MIO HARUHIKO
SATO YASUO

(54) INFORMATION HOUSE APPLIANCE SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To solve mis-connection or the like having been a problem in a conventional system at a stroke by interconnecting an information processing unit, an operation device, a display device and a printer with an electromagnetic wave so as to form the information house appliance system.

CONSTITUTION: The operation device 2 uses an electromagnetic wave such as a light to send operating information to an information processing unit 1 according to the processing of a transmitter 6, the unit 1 receives the operating information according to the processing of a receiver 7 to process the data by a data processing means 8. On the other hand, when the processing means 8 generates display data in the unit 1, a recording medium loaded to a recorder 10 records the print data and a printer 4, when the medium 5 is loaded, reads the print data under the processing of a reader 12 and executes data printing onto print paper. Since the processing is executed in the information house appliance system without provision of a cable between configuration units, mis-connection or the like having been a problem in a conventional system is solved at a stroke.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.07.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.07.2001

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection] 2001-14534[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection] 16.08.2001

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-153271

(43)公開日 平成6年(1994)5月31日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 9/00	3 0 1 D	7170-5K		
	3 2 1 Z	7170-5K		
// G 0 6 F 15/02	3 3 5 E	7343-5L		

審査請求 未請求 請求項の数5(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平4-300714

(22)出願日 平成4年(1992)11月11日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 三尾 晴彦

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 佐藤 泰雄

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 森田 寛 (外1名)

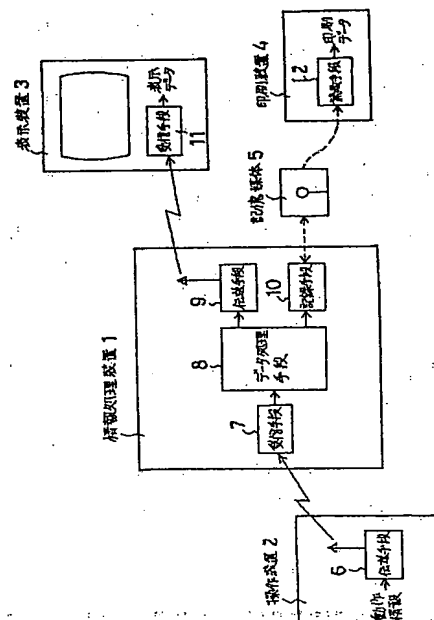
(54)【発明の名称】 情報家電システム

(57)【要約】

【目的】本発明は、情報処理装置・操作装置・表示装置・印刷装置から構成される情報家電システムに関し、ケーブルを用いない構成の実現を目的とする。

【構成】情報処理装置と操作装置との間と、情報処理装置と表示装置との間と、情報処理装置と印刷装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、操作装置は、情報処理装置に対して電磁波を用いて動作情報を伝送する伝送手段6を備えるとともに、情報処理装置は、伝送手段6から伝送されてくる動作情報を受信する受信手段7を備える構成を採り、更に、情報処理装置は、表示装置に対して電磁波を用いて表示データを伝送する伝送手段9を備えるとともに、表示装置は、伝送手段9から伝送されてくる表示データを受信する受信手段11を備える構成を採り、更に、情報処理装置は、印刷装置に装着されることになる記憶媒体に印刷データを記録する記録手段10を備えるように構成する。

本発明の原理構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報処理装置と、情報処理装置に動作情報を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とから構成される情報家電システムにおいて、

情報処理装置と操作装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、操作装置は、情報処理装置に対して電磁波を用いて動作情報を伝送する伝送手段(6)を備えるとともに、情報処理装置は、該伝送手段(6)から伝送されてくる動作情報を受信する受信手段(7)を備える構成を採り、

更に、情報処理装置と表示装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、情報処理装置は、表示装置に対して電磁波を用いて表示データを伝送する伝送手段(9)を備えるとともに、表示装置は、該伝送手段(9)から伝送されてくる表示データを受信する受信手段(11)を備える構成を採り、

更に、情報処理装置と印刷装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、情報処理装置は、印刷装置に装着されることになる記憶媒体に印刷データを記録する記録手段(10)を備える構成を採ることを、特徴とする情報家電システム。

【請求項2】 請求項1記載の情報家電システムにおいて、印刷装置は、記録手段(10)により記録された記憶媒体の印刷データを読み取って印刷していくよう処理することを、特徴とする情報家電システム。

【請求項3】 請求項1又は2記載の情報家電システムにおいて、記録手段(10)は、印刷データをイメージデータ展開形式に従って記憶媒体に記録していくよう処理することを、特徴とする情報家電システム。

【請求項4】 請求項1、2又は3記載の情報家電システムにおいて、表示装置は、テレビ受信機であることを、特徴とする情報家電システム。

【請求項5】 請求項1、2又は3記載の情報家電システムにおいて、記憶媒体は、フロッピーディスク又はICメモ리카ードであることを、特徴とする情報家電システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、情報処理装置と、情報処理装置に動作情報を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とから構成される情報家電システムに関し、特に、ケーブルを用

いない構成を実現する情報家電システムに関する。

【0002】近年、家庭内の情報処理を扱う情報家電システムのシステム開発が盛んに行われている。この情報家電システムは、情報処理装置と、情報処理装置に動作を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とを基本構成としている。この情報家電システムを実用的なものとするためには、家庭内で使い易いものとなる構成にしていく必要がある。

【0003】

【従来の技術】従来の情報家電システムでは、情報処理装置と操作装置との間と、情報処理装置と表示装置との間と、情報処理装置と印刷装置との間をケーブルで接続する構成を採っていた。

【0004】すなわち、従来では、操作装置は、ケーブルを介して動作情報を情報処理装置に与え、情報処理装置は、ケーブルを介して表示データを表示装置に伝送するとともに、ケーブルを介して印刷データを印刷装置に伝送するという構成を採っていたのである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来技術に従っていると、ケーブルを用いなくてはならないことから、システムが煩雑になるとともに、これらの装置の間をあまり離すことができないという問題点がある。そして、ケーブルの誤接続の危険性があるという問題点もある。

【0006】このような従来技術の問題点を解決するために、処理装置が、操作装置／表示装置／印刷装置を内蔵していく構成を採ることがある。しかしながら、このような従来技術に従うと、これらの装置を家庭内の別々の部屋に置いておきたいという要望を満たすことができないとともに、表示装置としてテレビ装置を利用することができないという問題点がある。

【0007】本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであって、ケーブルを用いない構成の情報家電システムを実現することで、従来技術の有していた問題点の解決を実現できる新たな情報家電システムの提供を目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】図1に本発明の原理構成を図示する。図中、1は本発明の情報家電システムを構成する情報処理装置であって、家電情報処理を実行するもの、2は本発明の情報家電システムを構成する操作装置であって、情報処理装置1に動作情報を与えるもの、3は本発明の情報家電システムを構成する表示装置であって、好ましくはテレビ受信機で構成されて、情報処理装置1の生成する表示データを表示するもの、4は本発明の情報家電システムを構成する印刷装置であって、情報処理装置1の生成する印刷データを印刷するものである。

【0009】図に示すように、本発明の情報家電システムでは、情報処理装置1と操作装置2との間にはケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置1と表示装置3との間にもケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置1と印刷装置4との間にもケーブルが設けられることはない。

【0010】5は情報処理装置1及び印刷装置4に着脱自在に装着されて、情報処理装置1の生成する印刷データを記録するフロッピーディスクやICカードメモリ等のような記憶媒体である。この記憶媒体5は、イメージデータ展開形式に従って印刷データを記録することがある。

【0011】6は操作装置2の備える伝送手段、7は情報処理装置1の備える受信手段、8は情報処理装置1の備えるデータ処理手段、9は情報処理装置1の備える伝送手段、10は情報処理装置1の備える記録手段、11は表示装置3の備える受信手段、12は印刷装置4の備える読取手段である。

【0012】

【作用】本発明により構成される操作装置2は、伝送手段6の処理に従って、光等の電磁波を用いて情報処理装置1に対して動作情報を伝送し、情報処理装置1は、受信手段7の処理に従ってこの動作情報を受信して、データ処理手段8に受け渡していくことでデータ処理を実行していく。

【0013】一方、情報処理装置1は、データ処理手段8が表示データを生成すると、伝送手段9の処理に従って、電磁波を用いて表示装置3に対してこの表示データを伝送し、表示装置3は、受信手段11の処理に従ってこの表示データを受信して、ディスプレイ画面上への表示処理を実行していく。

【0014】一方、情報処理装置1は、データ処理手段8が印刷データを生成すると、記録手段10の処理に従って、装着される記憶媒体5にこの印刷データを記録し、印刷装置4は、記憶媒体5が装着されると、読取手段12の処理に従ってこの印刷データを読み取って、印刷紙への印刷処理を実行していく。

【0015】このように、本発明により構成される情報家電システムでは、構成装置の間でケーブルを備えることなくデータ処理を実行できるので、従来技術の有していた問題点を一挙に解決できるのである。そして、表示装置3としてテレビ受信機を用いることが可能になる。

【0016】

【実施例】以下、実施例に従って本発明を詳細に説明する。図2に、本発明により構成される情報家電システムの全体構成を図示する。図中、図1で説明したものと同一のものについては同一の記号で示してある。

【0017】3aは表示装置3となるテレビ受信機、5aは記録媒体5となるフロッピーディスク、5bは記憶媒体5となるICメモリカード、13は情報処理装置1

に装着されるCD-ROMである。

【0018】14は情報処理装置1の備えるフロッピーディスク挿入口であって、フロッピーディスク5aの挿入口となるもの、15は情報処理装置1の備えるICメモリカード挿入口であって、ICメモリカード5bの挿入口となるもの、16は情報処理装置1の備える赤外線受信部であって、操作装置2から送信されてくる赤外線の動作情報を受信するもの、17は情報処理装置1の備えるアンテナであって、表示データをテレビ受信機3aに送信するものである。

【0019】18は印刷装置4の備えるフロッピーディスク挿入口であって、フロッピーディスク5aの挿入口となるもの、19は情報処理装置1の備えるICメモリカード挿入口であって、ICメモリカード5bの挿入口となるものである。

【0020】この図に示すように、本発明の情報家電システムでは、情報処理装置1と操作装置2の間にはケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置1とテレビ受信機3aの間にもケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置1と印刷装置4の間にもケーブルが設けられることはない。

【0021】これから、本発明の情報家電システムに従うことで、ケーブル接続を採る従来の情報家電システムの有していたシステムが煩雑になるという問題点や、構成装置の間をあまり離すことができないという問題点や、ケーブルの誤接続が起こるという問題点の発生を防止することができるようになる。なお、情報処理装置1や印刷装置4は、乾電池駆動型のものでないときには電源ケーブルを備えることになる。

【0022】図3に、このようなケーブルレスの情報家電システムを実現するための情報処理装置1の装置構成の一実施例を図示する。ここで、図中、図1及び図2で説明したものと同一のものについては同一の記号で示してあり、2aは操作装置2となるワイヤレスパッド、2bは操作装置2となるワイヤレスマウス、2cは操作装置2となるワイヤレスキーボードである。これらのワイヤレスパッド2aや、ワイヤレスマウス2bや、ワイヤレスキーボード2cは、情報処理装置1の外部に備えられて、赤外線を使って、情報処理装置1に対して各種の動作情報を通知することになる。

【0023】20はCPU、21はROM、22は内蔵時計、23はタイマ、24は割込コントローラ、25はキーボードポート、26はCD-ROMドライバ、27はCDコントローラ、28はパッド&マウスコントローラ、29はRAM、30はICメモリカードスロット、31はDMAコントローラ、32はフロッピーディスクドライバ、33はフロッピーディスクコントローラ、34はビデオRAM、35はRFトランスミッタ、36はスプライトパターンRAM、37は表示制御/変換部、38は電子ボリューム、39はFM電源、40はPCM

電源、41は波形RAMである。

【0024】この装置構成に従い、本発明を構成する情報処理装置1では、ワイヤレスパッド2aや、ワイヤレスマウス2bや、ワイヤレスキーボード2cから赤外線動作情報が送信されると、赤外線受信部16が、この動作情報を受信し、キーボードポート25やパッド&マウスコントローラ28が、この動作情報を自装置の処理できるデータに変換する。そして、CPU20は、この動作情報の指示に従ってデータ処理を実行して、印刷対象となる印刷データや、表示対象となる表示データを生成する。

【0025】このようにして表示データが生成されると、表示制御/変換部37は、表示データから映像信号を生成し、RFトランスミッタ35は、この映像信号をテレビ信号用に変換してテレビ受信機3aに送信する。そして、この映像信号を受けて、テレビ受信機3aは、情報処理装置1の生成した表示データを画面上に表示していくよう動作する。

【0026】このようにして、本発明を構成する情報処理装置1は、データ処理により生成した表示データをケーブルレスの構成に従いつつテレビ受信機3aに表示していくよう処理するのである。

【0027】一方、このようにして印刷データが生成されると、CPU20は、フロッピーディスク挿入口14から装着されるICメモ리카ード5bに、ICメモ리카ードスロット30を介してアクセスして、このICメモ리카ード5bに印刷データを記録し、あるいは、ICメモ리카ード挿入口15から装着されるフロッピーディスク5aに、フロッピーディスクドライバ32/フロッピーディスクコントローラ33を介してアクセスして、このフロッピーディスク5aに印刷データを記録する。このとき、印刷データをコードデータ展開形式で記録してもよいし、イメージデータ展開形式で記録してもよい。そして、印刷装置4は、この印刷データの記録されたフロッピーディスク5aやICメモ리카ード5bを受け取ると、これから説明するように、情報処理装置1の生成した印刷データを印刷紙に印刷していくよう動作する。

【0028】図4に、本発明のケーブルレスの情報家電システムを実現するための印刷装置4のハードウェア構成の一実施例を図示するとともに、図5に、この印刷装置4の機能ブロック構成の一実施例を図5に図示する。但し、この図4/図5では、説明の便宜上、印刷装置4は、ICメモ리카ード5bの装着については想定しておらず、フロッピーディスク5aのみを装着可能とすることを想定している。

【0029】図4中、50はCPU、51はROM、52はRAM、53はメカコントローラ、54は印字メカ、55はフロッピーディスクコントローラ、56はフロッピーディスクドライバである。ここで、この構成にあって、装着されるフロッピーディスク5aがイメージ

データ展開形式でもって印刷データを記録するときには、コードデータ展開形式で記録するときに必要なキャラクタージェネレータを備える必要はない。

【0030】また、図5中、60はフロッピーディスクドライバ部、61はフロッピーディスク読取部、62はメモリ部、63はメカコントロール部、64は印字メカ部である。

この装置構成に従い、本発明を構成する印刷装置4では、フロッピーディスク挿入口18から印刷データを記録したフロッピーディスク5aが装着されると、フロッピーディスクドライバ部60が、この装着されるフロッピーディスク5aをドライブし、フロッピーディスク読取部61が、メモリ部62に一時的に展開しつつ、このドライブされるフロッピーディスク5aの記録するイメージデータ展開形式の印刷データを読み取り、メカコントロール部63が、印字メカ部64を制御してフロッピーディスク読取部61により読み取られた印刷データの印刷処理を実行していくよう動作する。

【0031】このようにして、本発明を構成する印刷装置4は、情報処理装置1の生成した印刷データの印刷処理を実行するのである。このようにして、本発明を構成する情報処理装置1は、生成した印刷データをケーブルレスの構成に従いつつ印刷装置4でもって印刷していくよう処理するのである。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、情報処理装置と、情報処理装置に動作情報を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とから構成される情報家電システムにおいて、この情報家電システムをケーブルを用いない構成でもって実現できるようになることから、従来技術の有していた問題点を一挙に解決できるようになる。そして、表示装置としてテレビ受信機を用いることが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理構成図である。

【図2】本発明により構成される情報家電システムの全体構成図である。

【図3】本発明を構成する情報処理装置の装置構成の一実施例である。

【図4】本発明を構成する印刷装置のハードウェア構成図である。

【図5】本発明を構成する印刷装置の機能ブロック構成図である。

【符号の説明】

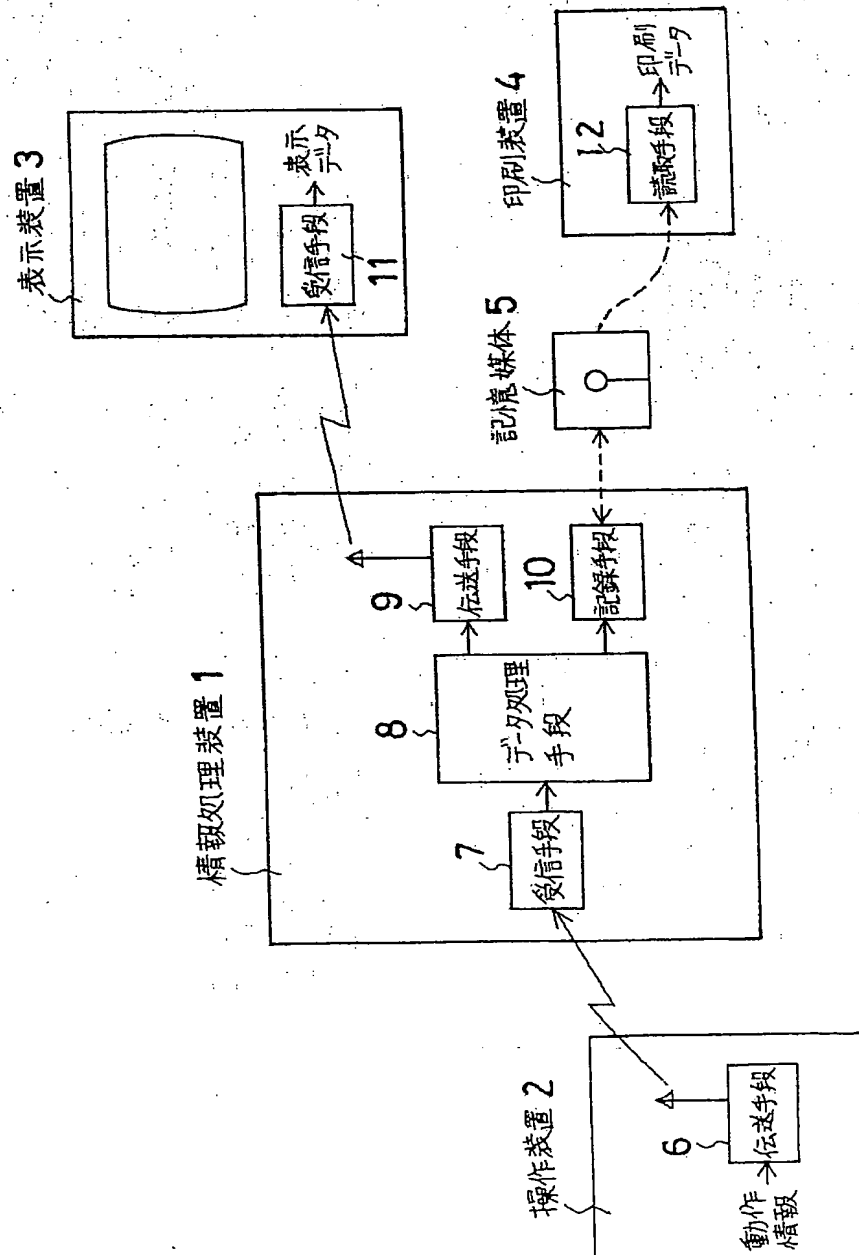
- 1 情報処理装置
- 2 操作装置
- 3 表示装置
- 4 印刷装置

- 5 記憶媒体
6 伝送手段
7 受信手段
8 データ処理手段

- 9 伝送手段
10 記録手段
11 受信手段
12 読取手段

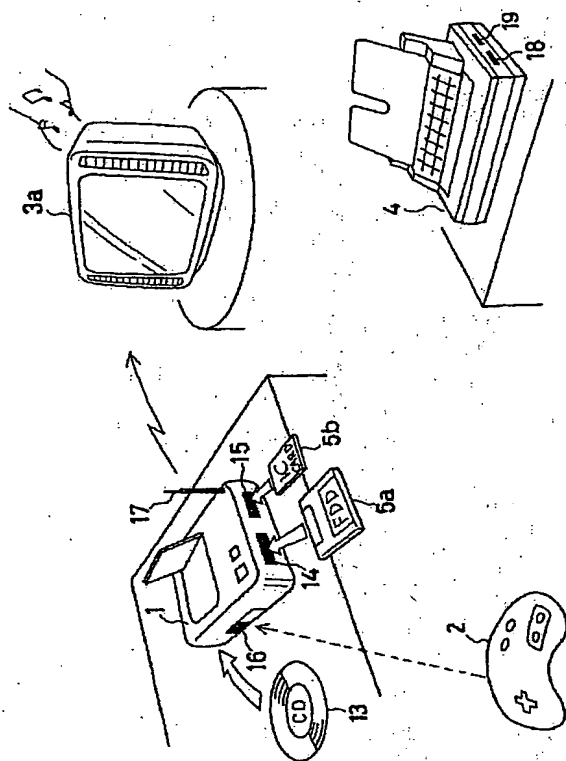
【図1】

本発明の原理構成図



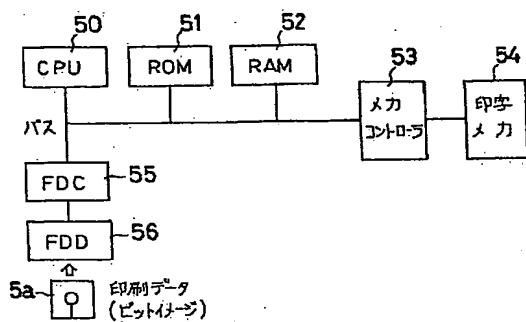
【図2】

本発明により構成される情報家電システムの全体構成図



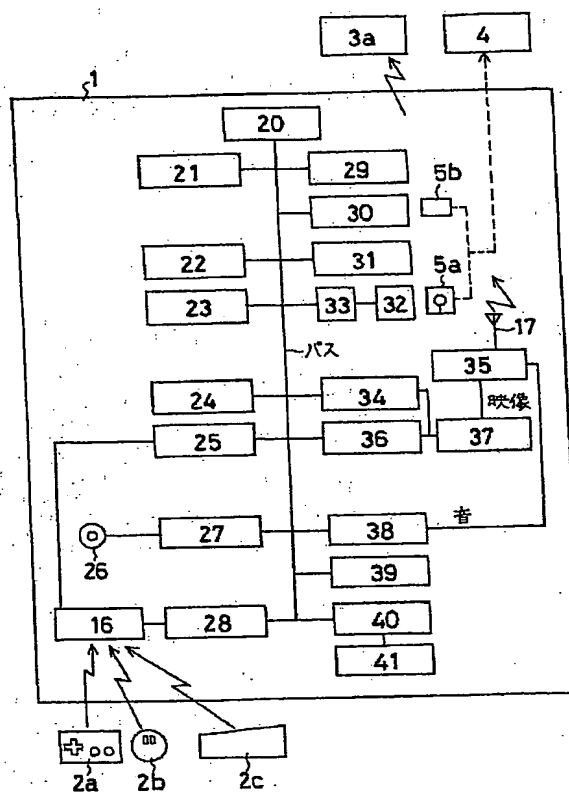
【図4】

本発明を構成する印刷装置のハードウェア構成図



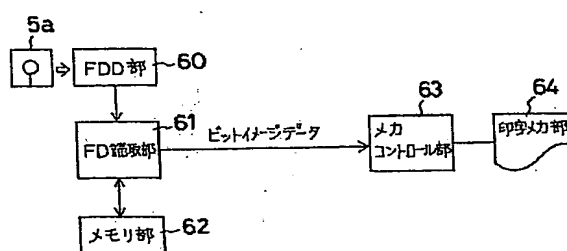
【図3】

本発明を構成する情報処理装置の装置構成の一実施例



【図5】

本発明を構成する印刷装置の機能ブロック構成図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成12年11月30日(2000.11.30)

【公開番号】特開平6-153271
【公開日】平成6年5月31日(1994.5.31)
【年通号数】公開特許公報6-1533
【出願番号】特願平4-300714
【国際特許分類第7版】

H04Q 9/00 301
321
// G06F 15/02 335

【FI】

H04Q 9/00 301 D
321 Z
G06F 15/02 335 E

【手続補正書】

【提出日】平成11年7月30日(1999.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 ワイヤレス処理システム及び処理装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報処理装置と、情報処理装置に動作情報を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とから構成されるワイヤレス処理システムであって、
情報処理装置と操作装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、操作装置は、情報処理装置に対して電磁波を用いて動作情報を送信する送信手段を備えるとともに、情報処理装置は、該送信手段から送信されてくる動作情報を受信する受信手段を備える構成を採り、更に、情報処理装置と表示装置との間をケーブルで接続しない構成を採り、かつ、情報処理装置は、表示装置に対して電磁波を用いて表示データを送信する送信手段を備えるとともに、表示装置は、該送信手段から送信されてくる表示データを受信する受信手段を備える構成を採り、更に、情報処理装置と印刷装置との間をケーブルで接続

しない構成を採り、かつ、情報処理装置は、印刷装置に装着されることになる記憶媒体に印刷データを記録する記録手段を備える構成を採ることを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項2】 請求項1記載のワイヤレス処理システムにおいて、

印刷装置は、記録手段により記録された記憶媒体の印刷データを読み取って印刷していくよう処理することを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項3】 請求項1又は2記載のワイヤレス処理システムにおいて、

記録手段は、印刷データをイメージデータ展開形式に従って記憶媒体に記録していくよう処理することを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項4】 請求項1、2又は3記載のワイヤレス処理システムにおいて、

表示装置は、テレビ受信機であることを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項5】 請求項1、2又は3記載のワイヤレス処理システムにおいて、

記憶媒体は、フロッピーディスク又はICメモリーカードであることを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項6】 処理装置と、
処理装置との間をワイヤレスで接続され、該処理装置からの表示データを表示する表示装置と、

処理装置との間をワイヤレスで接続され、該処理装置に対して動作情報を送信する操作装置と、
処理装置により印刷データを予め記録された記憶媒体を装着する印刷装置とを備えることを、
特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項7】 請求項6記載のワイヤレス処理システム

において、

印刷装置は、記憶媒体に記録された印刷データを読み取って印刷を行うことを、

特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項 8】 請求項 6 記載のワイヤレス処理システムにおいて、

処理装置は、印刷データをイメージ展開形式に従って記憶媒体に記録する記録手段を備えることを、

特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項 9】 請求項 6 記載のワイヤレス処理システムにおいて、

表示装置は、テレビ受信機であることを、

特徴とするワイヤレス処理システム。

【請求項 10】 表示装置、操作装置、または印刷装置との間で情報の授受が可能な処理装置であって、

表示装置に対して表示データをワイヤレスで送信する送信手段と、

操作装置からワイヤレスで送信される動作情報を受信する受信手段と、

印刷装置に装着されることになる記憶媒体に印刷データを記録する記録手段とを備えることを、

特徴とする処理装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正内容】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、情報家電システムなどを実現するワイヤレス処理システムと、そのワイヤレス処理システムで用いられる処理装置とに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであって、ケーブルを用いない構成に従って、従来技術の有していた問題点の解決を実現する新たなワイヤレス処理システムの提供を目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】図 1 に本発明の原理構成を図示する。図中、1 は本発明のワイヤレス処理システムを構成する情報処理装置であって、家電情報処理などを実行するもの、2 は本発明のワイヤレス処理システム

を構成する操作装置であって、情報処理装置 1 に動作情報を与えるもの、3 は本発明のワイヤレス処理システムを構成する表示装置であって、好ましくはテレビ受信機で構成されて、情報処理装置 1 の生成する表示データを表示するもの、4 は本発明のワイヤレス処理システムを構成する印刷装置であって、情報処理装置 1 の生成する印刷データを印刷するものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】図に示すように、本発明のワイヤレス処理システムでは、情報処理装置 1 と操作装置 2 との間にはケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置 1 と表示装置 3 との間にもケーブルが設けられることはなく、更に、情報処理装置 1 と印刷装置 4 との間にもケーブルが設けられることはない。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正内容】

【0011】6 は操作装置 2 の備える送信手段、7 は情報処理装置 1 の備える受信手段、8 は情報処理装置 1 の備えるデータ処理手段、9 は情報処理装置 1 の備える送信手段、10 は情報処理装置 1 の備える記録手段、11 は表示装置 3 の備える受信手段、12 は印刷装置 4 の備える読取手段である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正内容】

【0012】

【作用】本発明により構成される操作装置 2 は、送信手段 6 の処理に従って、光等の電磁波を用いて情報処理装置 1 に対して動作情報を送信し、情報処理装置 1 は、受信手段 7 の処理に従ってこの動作情報を受信して、データ処理手段 8 に受け渡していくことでデータ処理を実行していく。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正内容】

【0013】一方、情報処理装置 1 は、データ処理手段 8 が表示データを生成すると、送信手段 9 の処理に従って、電磁波を用いて表示装置 3 に対してこの表示データを送信し、表示装置 3 は、受信手段 11 の処理に従って

この表示データを受信して、ディスプレイ画面上への表示処理を実行していく。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正内容】

【0015】このように、本発明により構成されるワイヤレス処理システムでは、構成装置の間でケーブルを備えることなくデータ処理を実行できるので、従来技術の有していた問題点を一挙に解決できるのである。そして、表示装置3としてテレビ受信機を用いることが可能になる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正内容】

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、情報処理装置と、情報処理装置に動作情報を与える操作装置と、情報処理装置の生成する表示データを表示する表示装置と、情報処理装置の生成する印刷データを印刷する印刷装置とから構成される情報家電システムなどにおいて、この情報家電システムなどをケーブルを用いない構成でもって実現できるようになることから、従来技術の有していた問題点を一挙に解決できるようになる。そして、表示装置としてテレビ受信機を用いることが可能になる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【符号の説明】

- 1 情報処理装置
- 2 操作装置
- 3 表示装置
- 4 印刷装置

5 記憶媒体

6 送信手段

7 受信手段

8 データ処理手段

9 送信手段

10 記録手段

11 受信手段

12 読取手段

【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】

本発明の原理構成図

